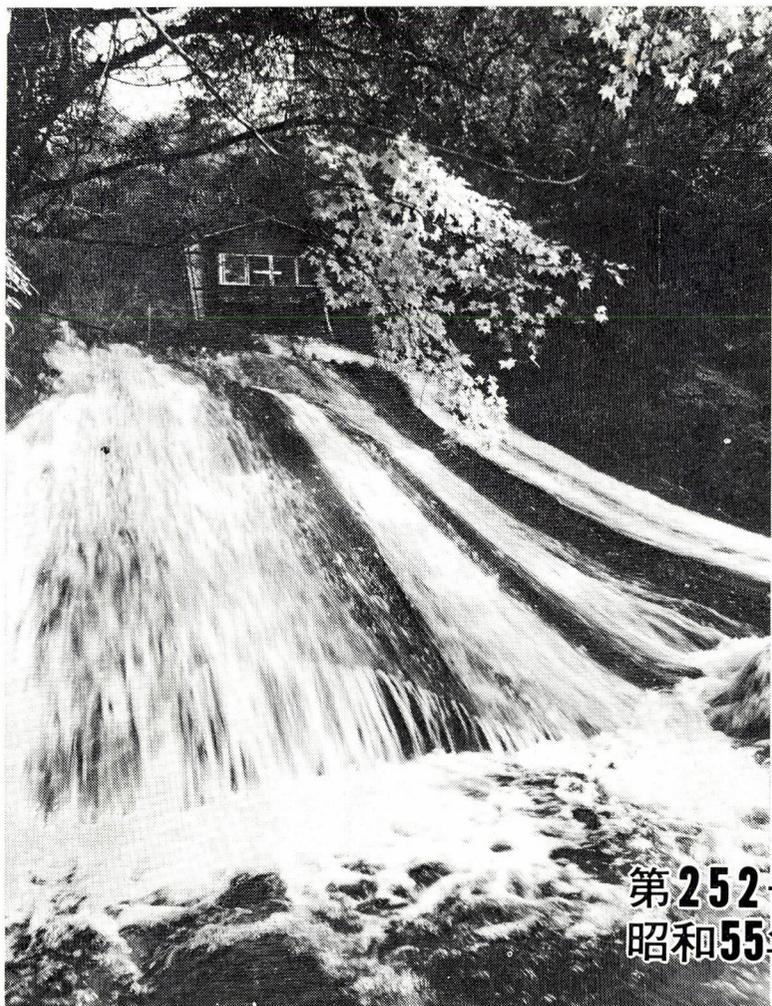


広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) 21111 [代表]

人口	
— 6月20日現在 —	
9,374人	男 ……4,581人 女 ……4,793人
世帯数	2,586
転入	29 出生 8
転出	25 死亡 10



第252号 昭和55年

8月

- おもな内容
- ☆ 第二回定例町議会ひらく……………(2)
 - ☆ あき巢や非行「警戒」……………(3)
 - ☆ 高原に歓声こだま……………(4)
 - ☆ 40歳代、汗だくの奮闘……………(5)
 - ☆ 初盆を迎えるご家族……………(6)
 - ☆ むかしの医者のお話……………(7)

8月10日	後藤 昭八	長陽 70019	阿蘇 50336	小 林 50075	平 田 20216	馬 原 20646	高森 20646
8月17日	上 村 50336	阿蘇 50336	高森 20075	高森 20216	高森 20646	高森 20646	高森 20646
8月24日	小 林 50075	高森 20075	高森 20216	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646
8月31日	平 田 20216	高森 20216	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646
9月7日	馬 原 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646	高森 20646

救急車は ☎ 29768へ



診療は午前9時から午後5時まで

南阿蘇写真展から

木 郷 滝

木郷滝は熊本名所百景の一つに選ばれ、町内では根子岳、高森峠に次ぐ自慢の名所にあげられています。以前は白水滝とも呼ばれ、溪流釣りや夏の涼を求める人で親しまれてきました。絹布を掛けたような滝の周辺は涼気にみち、ツリフネソウの大群落が咲き乱れ、美味なヤマメ料理と相まって、暑さ知らずの桃源境をつくっています。

△高森写友会△

南阿蘇はひとつ

△阿蘇南部広報紙統一キャンペーン△

町民文芸

俳句

蝸の声は聞けども梅雨あけず
通院にバス路規制の梅雨工事
束の間の雨の切れ間の濃紫陽花
長き雨つくろい物で日を送る
草を引く旅の疲れがまだ残り
蝮取り蝮に噛まれ不調法
牧守のソフトボールに興じおり
土の香と草の匂ひの梅雨時間
梅雨晴れの区民ごぞりて球を追ふ
昏れなず野に夕すげの花明り
河鹿聴く夕の人は誰かしら
鉄線花白の明りや雨しとど
雲海の夜が明けてゆく籠り堂
友訪へばお茶摘みですと可愛い子

肥後狂句

マヤ者ンが、読めん字はめて笑わるる
こらアどうし、青うなつとるめくら判
梅雨、飯場は今日もラスベガス
一方通行、往服ハガキ恥掻かせ
一方通行、道理聞く耳持たっさん
いらん世話、俺にヤ日ッ本一の媽
こらアどうし、同級会ア禿くらべ
一方通行、下手な意見な逆効果

- 野尻さだむ
- 熊谷 つ子
- 野尻 里女
- 浅井てる女
- 熊谷起代女
- 草村 鶴代
- 馬原その女
- 瀬井せん女
- 野尻 誓道
- 草村あつ代
- 馬原 岳人
- 恵良あや女
- 甲斐 菊江
- 福間 宮女

- 岡本 琴司
- 浦塚 南天
- 岩下 哀草
- 林田 一声

おめでたおくやみ

出生	S55. 6.16~7.15. 受付
(住所) (保護者) (出生児) (性別) (出生月日)	
津留 後藤 重憲 久美 女 S55. 6.27	
冬野 穴見 三生 周三 男 6.19	
昭和 飯干 平朗 和子 女 6.30	
旭通 二子石範男 貴子 女 7. 1	
河原 安藤 貴士 貴光 男 6.17	
尾下 古澤 一三 綾 女 6.26	

死亡	(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
洗川 後藤ヒサカ 夫 後藤 昭八 47 S55. 6.17						
上在 上村ハツ子 夫 上村 兼雄 66 6.27						
上町 田所 久吉 妻 田所シズエ 56 6.28						
旭通 後藤ヲトメ 夫 後藤 佐吉 67 7.12						
下切 工藤ナツエ 夫 工藤 高行 69 6.15						
野尻 栗焼 宏一 長男 栗焼 靖浩 13 6.24						

結婚	(氏名)	(住所)	(婚姻届年月日)
(夫) 甲斐 幸一 下切下切 S55. 6.28			
(妻) (本田)都紀代 永野原大橋木			
(夫) 工藤 武雄 永野原幸子 7. 5			
(妻) (橋本)みつ子 宮崎県五ヶ瀬町			

(一) (寄) (付)
ありがとうございます
△町社会福祉協議会
▽下切の工藤ナツエさんから
(夫、高行さん・60歳死去)

△上色見の後藤ヒサカさんから
(夫、昭八さん・47歳死去)
▽高森上町の田所久吉さんから
(妻、シズエさん・56歳死去)
▽高森旭通の後藤佐男さんから
(父、佐吉さん・67歳死去)
▽色見の山室宗敬さんから
(病氣見舞の返礼にかえて)

△草部の片口昭也さんから
(病氣見舞の返礼にかえて)
◎その他の寄付
▽大字津留の甲斐勝さんから老人クラブふもと会へ長椅子一脚
▽大字津留の甲斐強さんから老人クラブふもと会へ金一封
▽野尻河地の馬原マサ子さんから野尻小学校へ金一封
▽河原の井上浜子さんから老人クラブ「福寿会」へ金一封
▽永野原の甲斐カ子ジュさんから永野原老人クラブへ金一封
▽高森上在の上村誠雄さんから上在老人クラブへ金一封

こらアどうし、ヨナとアラレのこなす阿蘇
夕方から、歯止めの効かん出ベソぐせ
マヤ者ンが、罰冠つとる二枚舌
こらアどうし、横文字読んでみする孫
いらん世話、食管法が買い上ぐる
マヤ者ンが、涙も添えて慰むる
いらん世話、心に錦着て居ます
梅雨、シルクロードに行こ如たる

- 林 不忘
- 二子石探訪
- 田上黙公子
- 馬原 馬笑

補正予算案など可決 第二回定例町議会

ことしの第二回定例町議会は、六月三十日招集され本会議が開かれました。会期を七月五日までの六日間と決め、総額一億三千五百二十七万円の一般会計補正予算案、特別職報酬等審議会条例の制定など予算、条例関係を含む十八議案を原案通り可決しました。

◇ 人権擁護委員に大内田カツエさんを再任
人権擁護委員として活躍していた、再推薦して議会の同意を得ました。

◇ 特別職報酬等審議会条例を制定
町長、助役、収入役ならびに町議会議員など特別職の報酬を改定する際は、あらかじめ第三者機関の意見を聞くため、新たに「特別職報酬等審議会条例」を定めました。



第二回定例町議会

◇ 予防接種健康被害調査委員会設置条例を制定
町が実施した予防接種で万一、住民の健康が害された場合の円滑な処理方法を調査するために、

最近では全国的に高校生や未成年者のシンナー吸引、車の暴走、夜遊びの傾向が増え、町内でも同様の傾向にあることから、昨六月にこの町民会議を発足、効果的に青少年の健全育成を図っているものです。

地域ぐるみで非行防止を

青少年育成町民会議開く

高森町青少年育成町民会議の五十五年度総会が七月七日午後一時から開かれ、青少年の非行防止と社会環境の浄化活動の推進を町ぐるみで取り組むことを決めました。

総会には、岩下町長あいさつ、真鍋県家庭児童課参事、宮崎高森警察署長らの来賓祝辞のあと、五十四年度事業報告と収支決算を承認、次いで五十五年度の事業計画案と収支予算を決議しました。

続いて、子と親の対話のあり方を描いた「お母さん、ちょっと待って」の映画を観賞したあと、青少年の健全育成のために、町民の総力を結集する②青少年をとりまく社会環境の健全化と、非行防止を強力に推進する③青少年育成

地方税法の一部改正と、健康保険の税率算定基礎(所得、資産、被保険者数、世帯など)が変わったため、条例の一部を改正しました。

◇ 五十五年度一般会計に一億三千五百二十七万八千円を追加
五十五年度一般会計に一億三千五百二十七万八千円を追加して、総額を一億七千二百六十八万五千円としました。主な歳出面の補正は色見保育園の環境整備費、同和对策事業によるトラクター、ロータリーなど大型農機具の購入、林業構造改善事業による野尻地区の林道工事費、阿蘇広域消防組合

負担金など。

◇ 役場庁舎建設特別委員会を設置
現役場庁舎は老朽化が進み、手狭でもあることから、町は五十六年度から二カ年継続で建て直しを計画していますが、町議会もこの大事業の具体的推進を図るため、「役場庁舎建設委員会」を設置しました。

町の基本構想では、新林業構造改善事業で新庁舎に林業総合研修センターを併設することになっています。



青少年育成町民会議の会場

のため組織と地域における自主活動を強化する――三つの宣言が行われました。



歴史を秘めた「大神森」

上色兄 後藤嘉平

このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近かな話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方など紹介ください。

天神森は東南の外輪山のふもとにあつて、北に根子岳・高岳の雄姿を望み、西は遠く俵山をながめる絶好の景勝地です。面積は約三十町で、大正七年までは天然林が密生していました。その中に横六

に驚き、これはお身まき(太いしめ縄で神木を七回り半巻くこと)を怠ったための神の怒りではないかと、たいへん恐れられたとのことです。この話は、大正六年に九十五歳で亡くなられた人の直話で、



0番無料サービスをご存知ですか。②0000番をダイヤルしてみてください。

0番サービス

経済的な利用法や、新しい電話サービスなどについて年中無休

その人が四歳のときの出来ごとだったということです。したがって、この跡に植えられたのが今の二代目神木というわけです。

また神木から十四、五尺離れたところに姥天神という最も古い大木がありました。回りは十尺もあつたようで、頂上の枝は大部分枯れ、見るかげもなく、わずかに命脈を保つのみでした。この木が伐採されたのが約三十年前。根元の中はうつろになり、わずかに外側だけが残り、命を保ち続けていました。樹齢は、その筋の人たちの話しでは千年をはるかに越すだろうとのことでありました。

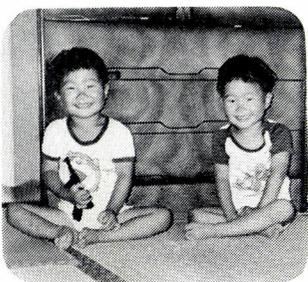
この霊地の法として、生木を切ることは厳禁され、もしこれを冒した人は、直ちに神罰を受けるといわれていたもので、だれ一人として切る人はいませんでした。

いまもこの場所では、年に一回、十二月上旬に部落の人たちによって「甘酒祭り」が行われています。神前で夜通し枯れた柴の木を燃して暖をとる、甘酒を沸して呑み、家内中かわるがわる一夜を

で、お知らせする特別なサービスです。あなたも今すぐご利用になってはいかがですか。0番サービスについてご意見ご感想などがありましたら②0500番へお電話ください。

△高森電報電話局▽

ぼくらは双子の兄弟



佐藤博農夫ちゃん 博文ちゃん



ぼくらは今年満三歳。双子の兄弟です。左が兄の博文。右が弟の博文。よろしくお

ケンカになります。だからパパもママもほんとはオモチャのピストルと自動車に凝っています。「ウーウー」「パンパン」と家中を駆け回るから、たまには大きなゲンコツも――でも、パパとママ大好きだよ。

(武久さんの長男と二男)

お相手をたのむ

県が育児電話相談をスタート

核家族で相談相手のいない若い母親などを対象に、県は熊本市南千反畑町の県中央保健所内に「育児相談専用電話」を設置しました。電話番号は(0963)20192、平日の午前九時から午後三時(正午から午後一時までは除く)まで受け付けます。相談相手には二人のベテラン保健婦があたり、「夜泣き」「しつけ」「離乳食」など育児全般についての相談に応じています。

離転職者対象に訓練生を募集

荒尾市の荒尾総合高等職業訓練校では、離転職者を対象にした能力再開訓練生を募集しています。訓練科目は溶接科で、定員は三十名。溶接工技量資格検定基本級(下向)および専門級(立上向)の試験に合格できる程度の技能を習得させます。

入所資格は職業転換を必要とする人で次の各号に該当し、公共職業安定所長の入所指示を受けた人①義務教育修了以上の学力のある

人

②再就職のため技能の習得を必要とし、将来技能者として生活していく意欲のある人

③適性、身体的要件、年齢、職歴などからみて訓練効果の期待ができる人

願書の受付は、七月七日から九月六日まで。希望者は最寄りの公共職業安定所で相談してください。

読書感想文コンクール作品募集

県立図書館は、第三十四回読書週間行事の一環として、読書感想文の募集を行います。

応募資格は一般社会人および大学生で、県内に住んでいる人。とりあげる本の題、内容など自由。必ず未発表のもので千六百字(四百字詰原稿用紙四枚)以内にまとめること。作品には(氏名(ふり

がな) (1)現住所・郵便番号(2)年

齢(3)職業・学校名・学年(4)大学

(5)書名・著者名・発行所などを付記すること。応募する方は十月二十五日(当日消印可)までに、熊本市千葉城町二一十六 熊本県立図書館企画広報係へお送りください。

住宅資金の借入れを受付中

住宅金融公庫熊本支所

住宅金融公庫では、今年度第二回目の個人向け住宅資金の借入れ申込み受付を七月二十九日から行っています。八月十九日まで受付日順に無抽せん選考の方法で受け付けられますので、早目にお申込みください。今年度は融資限度額が五十万円引上げられたほか、親子二世代にわたって利用できる「承継償還制

度」および「二世帯住宅融資の制度」、日本に永住する資格のある外国人の方も利用できるようになっていきます。詳しくは、住宅金融公庫熊本支所(☎096322121)へ

宅建取引主任者資格試験を実施

県では五十五年度宅地建物取引主任者資格試験を次の通り実施します。

- ▽試験期日 十月十九日(日)
 - ▽試験場所 熊本大学教養部
 - ▽受付期間 九月一日から五日
 - ▽受付場所 県庁一階県民ホール
- お問い合わせ先は県土木部建築課、または各土木事務所

八月は福祉年金証書の提出月

八月は福祉年金の受給者が、福祉年金証書を役場に提出する月です。福祉年金は、一定の額以上の所得があったり、他の年金を受けていたりすると、支給が停止されることがあります。このため、毎年一回これらの調

救急車の要請は0119

もしくは02076887



夏休みを安全に

増える子供の事故

「夕方」「飛び出し」に注意

梅雨が過ぎ、雲間からまぶしい太陽が照りつけるようになり、いよいよ南阿蘇にも本格的な夏が訪れました。学校の夏休みが始まり、子供も路上で遊ぶなど戸外活動が活発で、これからは交通事故もふえてきます。今年の交通事故をみますと、県下では死者が昨年にくらべて著しく増加しています。六月末日までの死者(七十人)の前年増加率は六六・七%で全国一位になっています。なかでも、昨年の子供の交通事故死は、同月末までに一人だったのが、今年は十四人となり、十四倍に増えています。子供の交通事故の実態を統計から要約しますと、「午後五時から

七時まで」、「自宅付近」、「自転車遊び」、「飛び出し」によるものが最も多いようです。夏休みになると、子供は急に解放感にひたり、緊張や注意がゆるみがちになります。町では「話し合う家庭にひろがる交通安全」というスローガンの下に事故防止に努めています。家庭では、とくに子供たちの行動に眼を離さないよう注意しましょう。また、県では小・中学校の夏休みが始まる七月十九日から八月三十一日まで、「夏の交通事故防止運動」を展開していますが、その重点目標は①夏休み中の子供の交通事故防止②飲酒・過労および無謀運転の防止③暴走族の追放④自転車・二輪車の安全利用となっ

ています。みんなで手をとりあって、夏休み中の子供たちを交通事故から守り、健やかに育てあげたいものです。

上色見小が初優勝

阿蘇南こども自転車大会

第八回阿蘇南部地区交通安全子供自転車大会(阿蘇南部地区交通安全協会主催)は、七月十五日午前九時から高森中学校体育館で行われ、本町の上色見小学校チームが初優勝しました。大会は小学生に自転車の正しい乗り方を身につけさせ、交通事故



ハンコ障害に挑む児童

に遭わないようにするのがねらい。本町から四校、白水村から二校、久木野村から一校、合わせて七チーム(一チーム五人)が参加しました。

学科試験のあと実技は安全走行テストのほか、Sコースやジグザグ運転、ハンコ障害、板乗りなど八種目にとたる技能テストがあり、子供たちはこれまでの練習の成果を思う存分発揮していました。成績は次の通りです。

- ▽団体 ①上色見小②野尻小③上色見小④個人 ①瀬井安広(野尻小)②後藤昭(佐伯康実、④後藤浩一、⑤古庄寿光(以上、上色見小)

なお、優勝した上色見小学校は阿蘇南部を代表して七月二十二日熊本市立体育館で開かれた県大会に出場。健闘してみごと五位に入賞しました。

あき果や非行厳戒

夏の防犯運動を展開中

の防犯診断を行うほか、座談会や映画会を開いて防犯意識の高揚などを図ります。また少年非行の防止策として、不良少年の

と、昨年一年間に発生した窃盗は七十四件。最も多いのがあき果ねらいで十五件、次いで車上ねらい十件、万引き九件、店舗

防止②夏休み中の少年非行の防止③金融機関をめぐる犯罪の防止——を重点にあげています。高森署でも例年通り住宅団地で

たまり場をは握したり、キャンブ場などのパトロールを強化します。高森署防犯係のまともによる

荒しとオートバイ盗がそれぞれ四件となっています。また管内の全犯罪の七八・七%が盗み。検挙した七二・七%が少年で、依然として少年による犯罪が多くなっています。

警察では、行楽などで家をあけるときは戸締りを厳重にし、隣近所に一声掛けよう呼びかける一方、子供の非行を防ぐために、ふだんから子供の友好関係や遊ぶ場所など行動範囲を知ってほしいと話しています。

キャンプ場入口でのチェックイン



高原に歓声こだま

「勤労青少年の日」記念行事

休暇村でキャンプ楽しむ

ことしの「勤労青少年の日」記念行事・南阿蘇国民休暇村キャンプ（県勤労青少年福祉員連絡協議会・熊本婦人少年室共催）が、七月十九、二十日の両日、同休暇村キャンプ場で行われ、参加した本町ほか、熊本市、八代市、水俣市、大津町、南小国町など十五市町村の約百二十人の若者が、涼しい高原の雑木林でキャンプ生活を楽しまれました。

一行は本部長十八人とともに、貸切りバス、自家用車に分乗してキャンプ場に着き、早くから町の記念行事に参加していた町内各事業所の若者五十人に迎えられました。全員が参加して開村式があり、宮田県勤労青少年福祉員協議会長、岡本同副会長らが「毎日の仕事ご苦労さんです。二日間の集団生活で健全な情操を養い、今後も有為な職業人として地域のために尽くしてください」とあいさつ、このあと地元を代表して岩下町長の歓迎のことばがあり、野外活動の注意、班分けがあつてテント村に入りました。

標高六百五十メートルにオープンしたばかりの広いキャンプ場はカラフルなテントがいっぱい張られ、元気な若者たちの歓声がこだましました。四時からは山崎同休暇村営業課長の指導でハンターゲームを楽しみ、飲もうで夕食づくり。目にしむ煙を気にしながらバーベキューを楽しむ者たち



煙を気にしながら夕食づくり

楽しいキャンプファイアーを囲む者たち

ベキュー、ポターージュ、サラダに舌鼓を打ちました。夜は会場をトリム広場に移してキャンプファイヤー。フォークダンスや各班ごとの歌、寸劇で日ごろの苦労を忘れられました。

翌二十日は六時起床。ラジオ体操のあと、早朝ハイキング、朝食と予定通り日程は進められ、車座になっての交歓会を最後に、感激と友情の集い「休暇村キャンプを終わりました。

九州青年の船で中国へ

高森津留の津留さん



高森津留の津留元親さん（三）写真・農業は、このほど五十五年度日中友好「青年の船」一般団員として内定、近く中国を訪れることになりました。

日中友好「九州青年の船」は、中華人民共和国と地理的歴史的に、最も深く結ばれている九州各県が、「九州はひとつ」という立場で四十九年から実施、九州の青年を「青年の船」に乗船させ中華人民共和国の実情参観、中国青年との交歓によって、日中両国の親善に役立っているものです。

県の選考にパスした津留さんは五十一年に熊高を卒業後、自営の農業に従事、余暇は青年団活動に力を入れ、現在は郡青年団協議会社会部長として活躍されています。

津留さんは「農業の協同・共販がどのようになされているのか、共産国と民主国の相違点を自分の目で確かめたい。また中国の若者が自由主義社会の日本やアメリカなどをどのように見ているか、いろんなことを学んでみたい」と話しています。

むかし町の医者の話

＜1＞ 本田秀行 郷土史家

人間の生活のうち一番の苦痛は病気で、その病気を治すには医者が必要で、遠い昔から医者がいたわけで、現在の高森町の地域にも昔から多くの医者がいたに相違ありません。しかし、ほとんどその名は残っていません。この地域で、江戸時代にその名の残っているのは五家です。私たちの先祖の命の恩人ですから、私の調べただけを記して感謝したいと思います。

医術に優れた寺倉家

いち早く「種痘」学ぶ秋堤

今から二百年ほど前、野尻鶴町に寺倉玄純という医師がおりました。この人の曾祖父は浪人。祖父は細川家に仕えておりましたが、父の三伯が医者となり、御中小姓格という武士の身分で野尻に移りました。

玄純は宝暦三年（一七五三）に御郡代衆御直触（おじぎぶれ）医師、安永四年（一七七五）に

九石にあたります。もちろん往診もするし、宅診もするし、患者から薬代も受けるのです。高教養もあり医術（漢法）にも勝れた人であつたと思います。

この玄純のあとには引き続いて医家であつたらうと思ひますが、それから五十年ほどたつてこの家から肥後藩で有名な蘭医が出ました。寺倉秋堤（庭）という人で、この人は熊本の名な医家西元順の長

は郡中で医師の最高の地位である「御郡医師」となり五人扶持の給料を受けました。これは米

子だったので、事情があつて家を弟にゆずり、野尻の寺倉家の養子になりました。

秋堤は非常に才能のすぐれた人で、夙に蘭学を志し、江戸に出てその道の大家坪井信道に学びました。そのうち嘉永七年（一八五四）にオランダ医学を伝えるモニックが来港したと聞いて、藩の許可を得て長崎に赴き、モニックに種痘の法を学びました。

「ほうそう」は、小児にとつてはどうしても通らなくてはならない伝染病で、多くの幼児が死亡しました。殊にほうそうは死亡率が高く、たとえ死ななくても顔に痘痕を残し、いわゆる「ぐじゃっべ」という醜い顔に残し、結婚にも支障がありました。種痘も始めは恐れられました。漸次普及し今では「ほうそう」という事すら忘れられました。

秋堤がこの地区で種痘した情況はよくわかりません。ただ寺倉家が野尻に、その子女を残しており、川上神社の祠官安藤幸足の門人録にその名が見られます。

24チームが熱戦展開

南阿蘇国民休暇村ゲートボール大会

「カッ、カッ」スティックでボールをたたく音。わきあがる歓声。南阿蘇国民休暇村ゲートボール大会は、七月五日午前九時から同国民休暇村グラウンドで開かれました。

これは同休暇村がゲートボールコート完成を機に、町内のお年寄りに健康と仲間づくりをしてもらおうと、毎年開いているもので今年で三回目。各地区の老人クラブから二十四チーム（男十三、女十一）約三百人のお年寄りが、思い思いのトレンチシャツ姿で出場しました。

開会式で村井同休暇村支配人



休暇村ゲートボール大会の会場

九電だより

婦人電気教室へどうぞ

ご家庭で上手に電気をお使いいただくには、ちょっとした電気知識が大変役に立ちます。九州電力では、楽しみながら電気に強くなる「婦人電気教室」をいろいろな教養講座とあわせて開講しており毎回、大変好評をいただいています。

詳しくは、最寄りのサービスセンター九州電力大津営業所におたずねください。

- 命寿会（津留）
- 女子「あさひ会（旭通）」
- 「女子」1万年青会（上町）
- 清山会（村山）
- 葉友会（下町）

40歳代汗だくの奮闘

町教委 スポーツテストを実施

高森・色見地区の壮年スポーツテストが、このほど高森小学校体育館と同校グラウンドで行われました。

これは、町教育委員会が四十歳の壮年を対象に行ったもので、自分の体力を知り、適当な運動を行うことによって、体力の保持、増進させようというのがねらい。約八十人の働き盛りの男女が参加して、反復跳び、直垂跳び、握力、ジグザグ、ドリブル、急歩の五項目に挑戦しましたが、どの参加者も汗だくの奮闘。「あとの体力はまだ三十歳代バイ」「い



反復跳びに挑戦する主婦

や、もっとできると思ったが、肥ゆるといかん」と、楽しい言葉が交わされていました。

テストに参加した横町の甲斐利文さん(四〇)は「初めてで要領がわからなかったが、まあまあのお出来でした」また、昭和の岩下多美さん(四〇)は、「体を動かすと気持ちがいい。まだまだできると思っていました。まだまだできると思っています。思うようにはいきません」といっておられました。

ご利用ください

観光たばこの化粧箱できる

観光PRのためのたばこ用化粧箱が、町内のたばこ小売店に備えられているのをご存知でしょうか。

この化粧箱は、さきに日本専売公社から阿蘇の観光記念たばこが発売されたのを機会に、町が二十万円の費用をかけて作ったもので、町外の親せきや友人などで、たばこをみやげとして買われる際に利用してもらおうという趣旨。化粧箱には片面に南阿蘇国民休暇

村から見た根子岳、もう一面は高森峠九十九曲りのカラー写真がそれぞれ印刷され、二十本入りたばこ三箱が納められるようになっていきます。また余白には「心のふるさと奥阿蘇へ」「たかもり・大自然に抱かれた阿蘇の奥座敷」の観光標語が刷り込んであります。五千箱を作製。

町内のたばこ小売店はもちろん、県内の主要たばこサービスセンターにも配布してあります。もし、たばこをみやげとして買われるときは、この美しい化粧箱をぜひご利用ください。

ご存知ですか もと陸海軍看護婦さんの実態調査

厚生省では、この六月から八月にかけて、もと陸海軍の病院などで看護婦として勤務されたことがある方々について、陸海軍看護婦として在職されていた間の職歴などの調査を行っています。

陸海軍看護婦として勤務されたことがある方は、ぜひ役場町民課の窓口へお立ち寄りください。窓口には「旧陸海軍看護婦実態調査票」と「調査票記入について

のご注意」という説明書が用意してありますので、これをお読みのうえ調査票に該当のことを記入してご提出ください。また、もと陸海軍看護婦をなさっていた方がおられましたら、調査のことをお知らせあげてください。

なお、詳しいことは厚生省援護局業務第一課(☎〇三―五〇三一―一七一)または県庁の援護事務主管課へおたずねください。

勲五等の甲斐保さん

業績称え受賞祝賀会

春の叙勲で勲五等瑞宝章を受章された大字下切の甲斐保さん(七〇)写真の受賞記念祝賀会



は、六月二十九日午前十時から草部基幹集落センターに、約百五十人が出席して開かれました。

発起人を代表して甲斐一誠町議長があいさつ、このあと、岩下町長、山村町副議長らの来賓祝辞、出席者一同による記念品贈呈があつて祝宴に移りました。甲斐さんは、大正五年三月宮崎県田原尋常高等小学校を卒業後、

下切で農業を営み、地域の信望を集めて十七年草部村議会議員に初当選、いらい五期二十一年間の長きにわたって本町行政の民主的な運営に寄与されました。

昭和二十二年に草部村議会議長、同三十年の町村合併以降は、町議会の建設委員、総務委員、厚生委員長を歴任されて、同四十年に議長就任、特に草部北部へき地集会所や町道社会一蔵地線、高森中学校体育館などの建設で優れた手腕、統率力を発揮されました。また、この間、熊本県民生委員、熊本家庭裁判所調停委員も務められ、地域の福祉向上にも尽されま

13日~15日
お盆

高 森

- △村山▽ 田中ウメカ 夫 田中伊之助
- 後藤 繁弟 後藤 一二
- 桐原 朝雪妻 桐原アサエ
- 村山 次男 父 村山 貞良
- 村嶋 久昭 父 村嶋 守
- 三森 正美 父 三森 正
- 三森 セキ 夫 三森五一郎
- △上在▽ 三森 ミエ 夫 三森 重数
- 中川 レイ子 夫 中川 光雄
- 下田 ヨネ子 夫 下田 豊
- 後藤 哲夫 母 後藤ミサエ
- 上村 ハツ子 夫 村上 兼雄
- △上町▽ 花宮 ミサヲ 夫 花宮 百門
- 本田 澄子 夫 本田 勝信
- 田所 久吉 妻 田所シズエ
- 長野 良明 伯父 武田 時雄
- △旭通▽ 赤峯 力男 父 赤峯 又雄
- 谷川 登 妻 谷川ヒサヨ
- 溜瀧 サエ 夫 溜瀧 清治
- 後藤 トメ 夫 後藤 佐吉

- △昭和▽ 藤本 義人 妻 藤本 ヤス
- 栗屋 ケサチヨ 夫 栗屋 兼喜
- △下町▽ 渡辺 トミコ 夫 渡辺 嘉一
- △冬野▽ 林 ノブ子 弟 二子石森秋
- 谷川 誠男 父 谷川 孝
- 佐藤 文男 祖母 佐藤アサエ
- 岩下 計 父 岩下 隆幸
- △横町▽ 岩本 昭三 母 岩本 ミホ
- 渡邊 廣次 妻 渡邊 サキ
- 有働 フキエ 夫 有働 金明
- △森▽ 荒牧 カツ子 夫 荒牧 征也
- △津留▽ 津留 平八 父 津留 義親
- 後藤 重人 母 津隈ハツエ
- 島田 基弘 妻 島田ミドリ
- △洗川▽ 佐野 豊 縁故者 松岡 道昭
- 後藤 公利 母 後藤ハルエ
- 本田 重則 長女 本田みつ子
- △西中原▽

色 見

- 荒牧 国光 妻 荒牧タケエ
- △前原▽ 荒牧 重盛 母 荒牧ミサエ
- 荒牧 一教 父 荒牧 近光
- 荒牧 サチ 夫 荒牧阿蘇男
- △井上▽ 住吉 スエ子 夫 住吉 泉
- △草部▽ 二子石文雄 祖母 二子石キク
- 田上 誠記 養父 田上 每重
- 工藤 馨 父 工藤 勇
- △芹口▽ 黒木ヒサエ 母 林 トラノ
- 江藤 清忠 妻 江藤サカエ
- 川部 七生 父 川部 義盛
- △永野原▽ 甲斐 光 父 甲斐 有雄
- 安藤 勝一 二女 安藤奈生美
- 本田 勉 妻 本田トヨカ
- △菅山▽ 後藤タマエ 夫 後藤 時春
- 遠山 宗雄 養母 遠山マサカ
- 遠山 哲夫 父 遠山 盛久
- 遠山 ヤス 夫 遠山 速
- △下切▽ 甲斐 隆嘉 母 甲斐ヨ子ヲ
- 工藤 明善 父 工藤 源了
- 甲斐 成美 養父 甲斐 豊熊
- 工藤 ナツエ 夫 工藤 高行
- △矢津田▽ 本田 公憲 母 本田フジエ
- 後藤 武徳 母 後藤タマエ

草 部

- △野尻▽ 甲斐 強 妻 甲斐 恵美
- 興柁 武春 父 興柁 竹松
- 野上 ミヨシ 夫 野上 幸晴
- 野尻 孝 母 野尻トモエ
- 佐藤 溜雄 父 佐藤千和太
- △野尻▽ 藤井 午人 妻 藤井ユキエ
- 工藤 日押 妻 工藤 妙子
- 栗焼 宏一 長男 栗焼 靖浩
- △尾下▽ 甲斐 ミズホ 夫 甲斐 昇助
- 藤本 厚夫 伯母 藤本ケサヨ
- 瀬井 顕義 母 瀬井シユエ
- 後藤 美人 父 後藤 亀喜
- 瀬井 二男 父 瀬井今朝熊
- △河原▽ 後藤 栄喜 父 後藤 貞喜
- 後藤 勲 母 後藤 ハル
- 後藤 法龍 祖父 後藤 海円
- 井上 濱子 妻 井上 義春
- 森 忠二 養母 森 フミ
- 後藤 コマツ 夫 後藤 惟孝
- 本田 恵一 妻 本田 實絵

野 尻

祖先の霊を供養する日—お盆。都会では七月十五日を中心に十三日から十六日を盆と呼ぶようですが、本町の各家庭ではほとんどが八月十三日の夕方から「お

初盆を迎える「家庭

盆」にはいりません。お盆というのは盂蘭盆の略で、盂蘭(うら)といふのは苦惱を救うことです。さまざまな供え物を盆に盛って、仏や仏弟子に供養し、その功德で衆生の苦しみを救う意味だそうです。本町で今年初盆を迎えるご家庭は、次の八十一戸です。お参りする方々の利便を考えて地域別にまとめてみました。記載順はご遺族のお名前、続柄、死亡者のお名前となっています。

新生活運動にご協力を

- 一、御仏前はロック、線香代と
- 二、一般的盆まわりの方にはお茶のこしもお盆が近づいてまいりました。毎年のことながら次の申し合わせ事項について、みなさんのご協力をよろしく願います。
- 三、病気見舞を受けても、返礼は
- 四、無駄を省き、資源節約に努め
- 五、第二日曜日は清掃の日。公共の場所などきれいにしましょう。
- 六、祝祭日は国旗を掲げましょう。

高森町社会教育委員会
高森町婦人会